

平成 23 年 5 月 10 日
独立行政法人経済産業研究所

【民間競争入札実施事業】

経済産業研究所データベース業務の実施状況
(平成 21 年 12 月～平成 23 年 3 月) について

I 事業の概要

1. 事業概要

データベース業務は、日本産業生産性データベース (Japan Industrial Productivity Database: JIP) 基礎資料収集・入力業務と RIETI Trade Industry Database (RIETI-TID) 作成等業務の 2 つを行うもの。

- ・ JIP 基礎資料収集・入力業務: JIP を作成するための基礎データを収集・入力するもの。
- ・ RIETI-TID : 国連が作成している COMTRADE のデータを基に作成された二次加工統計を作成するもの。

2. 契約期間

平成 21 年 12 月 4 日から平成 24 年 2 月 28 日

3. 受託事業者

株式会社 価値総合研究所

4. 契約金額

29,460,000 円 (税抜き)

※ 業務委託期間 (平成 21 年 12 月 4 日から平成 24 年 2 月 28 日の 2 年 3 ヶ月間の総額)

Ⅱ 確保されるべき質の達成状況、業務の実施状況及び評価（平成 21 年度・平成 22 年度：平成 21 年 12 月～平成 23 年 3 月）

1. JIP 基礎資料及び RIETI-TID の基礎となる統計データを誤りなく入手すること。

(1) 実施状況

確保すべき対象公共サービスの質	平成21年度 (平成21年12月～平成22年3月)	平成22年度 (平成22年4月～平成23年3月)
【JIP】 ・ JIP基礎資料の統計データを誤りなく入手する	・ 統計データ入手に過誤なし	・ 統計データ入手に過誤なし (最終納品は平成23年3月末)
【RIETI-TID】 ・ RIETI-TIDの作成に伴い基礎資料を誤りなく且つ、最新時点のデータを入力	・ 入手したデータには過誤はなかった	・ 入手したデータには過誤はなかった

(2) 評価

【JIP】

- ・ 統計データ入手については、過誤なく実施されていた。特に 2 年目におけるデータ配布方法、公表様式の変更について、実施要項通り、適切な事前確認が行われた。
※2年目の第1回納品(8/20)に先立ち、経済産業研究所からデータ収集・入力に関する資料変更点についてのメモを事業者に送付。

【RIETI-TID】

- ・ データ入手に関しては、1 年目、2 年目ともにスムーズな対応がなされ、満足する結果を得た。

2. JIP 基礎資料を別添 2 の方法に従って適切に入力すること。

(1) 実施状況

確保すべき対象公共サービスの質	平成21年度 (平成21年12月～平成22年3月)	平成22年度 (平成22年4月～平成23年3月)
【JIP】 ・ JIP基礎資料を適切に入力する	・ 第3回納品(平成22年3月1日)において、データの一部に入力過誤があった。 ・ これは労働編No.12「賃金センサス」のデータ入力に際して、1980年のデータ入力部分に、誤って	・ 統計データ入力に過誤なし。 (最終納品は平成23年3月末)

	1987年データを入力してしまい、入力元データの間違いに気付かなかったものである（平成21年度の「賃金センサス」データ入力作業についてのみ、1970年～2000年の31年分の同一フォーマットによる入力作業がある）。	
--	---	--

(2) 評価

【JIP】

- ・1年目にデータ入力に関する過誤が発見された。実施事業者がデータ入力を専門とする事業者ではないことによる弊害の可能性もある。
- ・2年目におけるデータ配布方法、公表様式の変更について、実施要項通り、適切な事前確認が行われた。

※2年目の第1回納品（8/20）に先立ち、経済産業研究所からデータ収集・入力に関する資料変更点についてのメモを事業者に送付。

3. RIETI-TID の基礎となる統計データを別添3の方法に従って加工及びデータベース化し、それを公開するとともに、データベースのサーバーを適切に管理すること。

(1) 実施状況

確保すべき対象公共サービスの質	平成21年度 (平成21年12月～平成22年3月)	平成22年度 (平成22年4月～平成23年3月)
【RIETI-TID】 ・RIETI-TIDの作成にあたり、国別、地域毎に過誤なくデータを加工	・加工されたデータに特段の過誤はなかった。	・加工されたデータに特段の過誤はなかった。
【RIETI-TID】 ・データベース及びそれを用いた検索ツールの作成	・作成されたデータベース、検索ツールに過誤はなかった。	・作成されたデータベース、検索ツールに過誤はなかった。
【RIETI-TID】 ・RIETIのHPからデータベースを公開し、そのデータベースを過誤なく管理	・RIETI-TIDは委託業者が所有する機材に構築され一般公開を実施。そのデータも適正に管理・運用されている。	・RIETI-TIDは委託業者が所有する機材に構築され一般公開を実施。そのデータも適正に管理・運用されている。

(2) 評価

【RIETI-TID】

- ・国の変更に伴う作業にも適切な対応が図られ満足する結果を得た。
- ・検索ツールは、国変更があったものの特段の問題なくツールを利用することが出来、満足する結果を得た。
- ・データベースの管理・運用は、トラブルの報告もなく適正に運用されている。

4. 納品後契約期間内に誤りが確認された場合、民間事業者は全てのデータを再検証した上で誤りを修正し、再度納品すること。

(1) 実施状況

確保すべき対象公共サービスの質	平成21年度 (平成21年12月～平成22年3月)	平成22年度 (平成22年4月～平成23年3月)
【JIP】 ・納品後契約期間内に誤りが確認された場合、全データ再検証し修正後、再納品	・入力ミス発見後、すぐに事業者 に連絡、全データの再検証、修正 後の再納品を依頼。 ・入力ミスの原因は、入力元デー タの単純な取り違いである。今後 は、複数人が目視により厳密に入 力元データを確認するほか、エク セルの計算機能を利用し、以下の 対策を行うことを徹底。 ① 複数年次の入力データがあ る場合には、年次間でも集計デー タを比較し、入力ミスがない かをチェックする。 ② 入力元の紙媒体記載のデー タの合計値、入力データの数値 の合計値をチェックする。	・最終納品は、平成23年3月31日。 ・現時点では、入力ミスは生じて いない。

(2) 評価

【JIP】

- ・1年目のミス発見後の対応は適切に行われた。

5. 当研究所が定めたスケジュールを厳守すること。

(1) 実施状況

確保すべき対象公共サービスの質	平成21年度 (平成21年12月～平成22年3月)	平成22年度 (平成22年4月～平成23年3月)
【JIP】 ・当研究所が定めるスケジュールの厳守	スケジュール通り納品 ・第1回：平成21年12月21日 ・第2回：平成22年2月1日 ・第3回：平成22年3月1日 ・第4回：平成22年3月31日 (実績の測定時期) ・各納品日	スケジュール通り納品 ・第1回：平成22年8月20日 ・第2回：平成22年10月30日 ・第3回：平成23年1月7日 ・第4回：平成23年3月31日 (実績の測定時期) ・各納品日
【RIETI-TID】 ・当研究所が定めるスケジュールの厳守	スケジュール通り納品 ・平成22年3月31日	スケジュールより早く納品された ・平成23年3月第2週

(2) 評価

【JIP】

- ・平成23年3月上旬現在、スケジュール通りの納品が行われており、評価できる。

【RIETI-TID】

- ・スケジュールより、概ね2～3週間早く納品が可能であり、ユーザへの公開もスケジュールとおりの順調に実施されたことから満足出来る結果であった。

III 実施経費

平成21年度・平成22年度（平成21年11月～平成23年3月）の経費と平成20年度及び19年度の比較は以下の通りである。

(1) 実施状況

(参考) 平成20年度	平成21年度 (平成21年12月～ 平成22年3月)	平成22年度 (平成22年4月～ 平成23年3月)	平成23年度(予定) (平成23年4月～ 平成24年2月)	契約期間合計 (平成21年12月～ 平成24年2月)
¥12,619,000	¥10,970,000	¥10,824,000	¥7,666,000	¥29,460,000

(2) 評価

各年度ともに、実施期間直前（平成 20 年度）に比べ、コスト削減に繋がっている

IV 評価のまとめ

【JIP】

- ・確保すべき対象公共サービスの質については、入力ミスが 1 年目に発生したものの、発見後、事業者が適切に対応したことや、当研究所が定めるスケジュールが厳守されたことは評価できる。

【RIETI-TID】

- ・確保すべき対象公共サービスの質については、対象国の変更に伴う検索ツールの変更への対応、当研究所が定めるスケジュールよりも早めの納品などの対応は評価できる。

(全体評価)

- ・ JIP、RIETI-TID の各業務自体では、確保すべき対象公共サービスの質を確保しており評価できる。また、実施経費については、各年度ともに、実施期間直前（平成 20 年度）に比べ、コスト削減に繋がっており、評価できる。

以上